

令和5年 自己評価・施設関係者評価表

社会福祉法人 松樹会
幼保連携型認定こども園
松浜こども園

1. 本園の教育・保育目標

発達段階を考慮しつつ、一貫した計画をもとに教育・保育を連続的に展開し、卒園までに身につく事を目指します。

思いやりと協調性のある子

- ・相手を尊重し思いやりの心を持つ。
- ・優しい言葉がけや励ますなどして他者をいたわる。
- ・良いこと悪いことに気づき考えて行動する。
- ・礼儀を知る。
- ・友達と思いや考えを共有し、協力しながらやり遂げる。



心もからだも元気な子

- ・身の回りのことを自分でする。
- ・健康な生活リズム、習慣を身につける。
- ・情緒が安定し意欲的に遊ぶ。
- ・体力とバランス感覚を養い、運動能力を向上する。
- ・心のコントロールと我慢ができる。
- ・すべきことを自覚し、創意工夫しながら行動する。(自立心)
- ・諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、さらに挑戦する。

思いやりの心と 未来を生き抜く力を培う

社会に生きる

- ・日本の国柄、伝統的な文化に触れ、我が国や地域社会との繋がりを意識する。
- ・尊敬と感謝の気持ちを持つ。
- ・お手伝いなどをして自分が役に立つことを喜ぶ。
- ・公共の施設や公共の物の正しい使い方を覚え、大切に扱うことを学ぶ。



考える子ども

- ・心を動かす体験を通し、自分なりの感性と想像力で表現する。
- ・言葉を豊富に獲得し、豊かな情操・思考力・表現力を身につける。
- ・他者の意見も参考にしながら判断し、自分の考えをよりよいものにする。
- ・文字をはじめ数量や図形、記号、標識などを理解し生活に役立てる。
- ・自然や物の性質、仕組みなどをよく観察し、好奇心や探究心をもつ。

2. 本年に取り組む重点事項

【非認知能力】を高める

3. 評価項目の達成及び取り組み内容

評価項目	評価の着眼点	取組状況
保育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建学の精神や教育目標に基づいた運営がなされているか ・ 教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、その考え方について教職員間で共有されているか ・ 年間の指導計画や週案などが適切に作成されているか 	<p>入園0歳児から卒園に至るまで一貫した計画を持ち、年間保育指導案から月・週案に連動するよう作成されている。どのクラスの計画・実施状況や反省評価を含めた情報も、どの職員も見る事ができ共有している。</p>
指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した指導が適切に行われているか ・ 環境を通して行う教育が適切に実施されているか ・ 幼児との信頼関係の構築が図られているか ・ 幼児の主体的な活動が尊重されているか ・ 遊びを通した総合的な指導が適切に行われているか ・ 一人一人の発達の特性に応じた指導が適切に行われているか など 	<p>教育要領に沿った保育計画を、子供の発達に応じて保育実践している。保育計画でクラス全体の運営を図るが、同時に個別配慮の視点を欠くことなく養護と教育の両輪が成り立つよう配慮している。</p> <p>幼児の主体的なあそびの活動については、環境設定や心情・意欲・態度に寄り添い達成感が得られるよう意識し、都度見直している。</p> <p>総合性は保育目標にも盛り込む「10の姿」を得られるよう日々の生活や活動を送っている。</p>
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育の為、研修を実施しているか ・ 特別な支援を必要とする幼児について、個別の指導計画や個別の教育支援計画が適切に作成されているか ・ 特別な支援を必要とする幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携が適切に図られているか 	<p>支援を必要とする子供も多く在籍するが、園として発達支援に強くなる必要を感じ、重点課題とし、専門の研修を積み研鑽している。</p> <p>無理のないクラス活動で、かつ、必要な子には個別の活動を準備する。</p> <p>専門機関との連携も図り個別のケアをしている。</p>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法定の学校安全計画や、学校防災計画等は作成、実施されているか ・ 園舎や通園路等の安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取組 	<p>立地や地域環境を把握しながら、想定を変えての避難訓練をその都度行っている。</p>

	<p>が定期的に行われているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、団体との連携を図りつつ、幼児の安全を確保するための具体的な取組が行われているか 	
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の課題をふまえ研修を実施しているか ・保育研究を全教員が行うことや、保育研究を継続的に実施することなどを通じ、指導改善に全園的に取り組んでいるか ・教員の指導の状況を的確に把握するとともに、指導が不適切な教員への対応が適切になされているか ・管理職が定期的に保育観察を行い、教員に対して適切な指導・助言をしているか 	<p>各団体主催のオンライン研修の他に、園主催の外部講師依頼の研修・職員内研修を行った。</p> <p>不適切保育を防ぐため、毎日「私たちはいつも」から始まる保育に対する姿勢を読んでから業務にあたる。それぞれの反省評価や現場での動きからアドバイスできるよう心掛けてはいるが、確実な指導・助言には課題を残す。</p>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・園の様々な情報が、分かりやすく、かつ適切な分量で提供されているか ・幼児等の個人情報の保護と積極的な情報提供とのバランスに配慮しているか ・園便りや掲示板等を用い、教育活動について、園や子育てに関する様々な情報の伝達・公開が適切に行われているか ・ホームページの活用をはじめ、広く地域住民等に園に関する情報を周知し、提供するための取組を行っているか 	<p>冊子状の園だよりを毎月発行配布し、保育のねらいと結果や反省評価が見られるよう掲載している。子供の成長が理解できるよう、日々の保育内容が見えるよう工夫している。HPは外部の方向けに概略を説明している。</p>
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・食事やおやつは、素材から手作りしたものを提供するように努めているか ・子どもが主体的に偏食を直せるよう工夫をしているか ・子どもが落ち着いて食事を楽しめるように、食事をするための雰囲気づくり等に配慮しているか ・子どもの食事の状況を把握するため、調理担当者は食事の様子を見る機会を設けているか ・食事は、季節感のある献立や食材を利用 	<p>おやつも含め給食は手作りで提供している。さらなる給食の充実をはかり、R2/6より取り入れた和食を中心とした献立だが、残食の課題がこれまでであった。空腹感を感じられるよう運動をすることや雰囲気や声かけと主体的に食べられるよう努めている。その結果、残食も減り偏食も減りつつある。</p> <p>和食を中心に、また、サイクル献立という食のドリル学習で食材・調理</p>

	<p>しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発育期にある子どもの食事の重要性と、園で提供する食事への配慮を保護者に伝えているか ・ 厨房内における日々の業務反省評価をしているか 	<p>の経験を積み、身体を作るうえで理想的な和食の学習をしていく。手間や経費がかかるが食に力を入れている。</p> <p>保護者に向けた保育参観での給食提供も再開し反響を頂いている。</p>
施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭や園舎、敷地は幼児に適した面積か ・ 安全にかかる配慮は適切か ・ 遊具の種類や設置状況は適切か 	<p>面積は法定以上に広い。1・2階とも地上階という特殊な立地で安全。</p> <p>今後必要に応じて教具も増やす。</p> <p>本年は大型雲梯を加えた。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>子供達から多様な経験を積みつつ、自信をつけ、さらに興味を深めてもらえるよう保育計画をたてている。</p> <p>点数で測れる認知能力ではなく、むしろ点数として評価しづらいが生きる上で大切な能力である「非認知能力」を重要視する傾向が日本の教育の流れとしてある。この非認知能力が高ければ高いほど人間関係良好であり、犯罪から遠ざかり人生の成功や楽しみ幸福を得やすい結果となる事を学術的研究により明らかされている。</p> <p>数年前「10の姿」という育てたい子供の姿を加えた「教育・保育要領」改訂に伴い、当園の保育目標も・健康な心と体・自立心・協同性・道徳性・社会性・思考力・自然・数量、文字への関心・言葉・感性と表現という内容をより打ち出したものに改訂した。</p> <p>経験を積み、知恵を広げ、そして実生活に役立てるといのは、幼児の世界では遊びを通して展開されるものと捉えている。保育指導案の立案から実施、反省評価まで子供が遊べたか否かとの視点から進めているが、より一層、子供達が楽しめる魅力的な遊びやバリエーションを高めていきたい。「お手伝い」「少しだけ高い課題提供」「協力して結果が得られるような取り組み」といった課題提供については、昨年からの取り組み項目としてはあげていたが、もう少し機会を設けたかった。</p> <p>10の姿で示される重要な点は、幼児なりの道徳性の獲得と言えようが、今年度途中から当園で子供達に「誓いの言葉」として唱和するという新たな試みをしている。「自立・いたわり・覚悟、等々」10の姿を当園の保育目標として挙げている内容を多く含み、幼児期だからこそ教えた生き方を示す先人からの言葉を唱和するもの。</p> <p>道徳性の芽生えは科目的に実施すれば身につくものではない。園生活全部を使い「生き方」を幼児なりに捉え、生き抜く力を養いたい。</p> <p>3歳以上児では、教育的な内容を進めながら、なかなか発達障害やグレーゾーンの子供が参加</p>
--

してこないとの難しさがある。全体として今年度はその場面も多く見られたが、なるべく参加させる中でバランスよくクラスを運営できたようだ。

全般的にクラス運営は良好ではあったが、一部のクラス運営で子供が担任の言う事を聞いてくれない。興味関心を抱かない。クラス活動にかかわらず、周囲の子を巻き込みクラスの活動がかき回されるといった場面もあり当該担任は苦勞している。特に発達障害によるものでもないが、一人一人の子供に対する観察力と分析の必要性をより感じさせられた。不適切保育が問題となっている昨今では、保育現場では家庭育児と違い、かつてのようなある程度の「叱りも」許容されないと考え、また、子供の興味関心を引き出す方法で引き出したい。集団生活をまとめる上での一段高い技術的壁を乗り越える必要があり、園全体で方法を探っている。

クラス参加に積極的ではない子供に対しても、観察・分析・取組の提案というサイクルで興味関心を引き出しまとめていきたい。

未満児の0・1・2歳児の生活は落ち着いており、以前は保育現場では頻繁にある嘔みつきも大きく減少している。要因として、環境づくりがあるが、中でも職員の発達段階を理解し、そこに合わせ生活パターンのあり方を子供に寄り添うようにしている事が大きい。

和食中心で身体によく美味しいものをとの思いで提供している給食であるが、子供の食の嗜好性からすると、和食は食べ残される傾向が多くある。食のドリル学習としてサイクル献立により繰り返し、最終週の4週目にはより食べが進むようにとの配慮をしている。その他、言葉かけや興味関心を持ってもらえるよう工夫をすることにより、昨年度の残食の課題を減らすことができた。

5. 今後取組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
【興味関心】を引き出す	遊びの提案の中にも、参加に課題を残す場面もある。子供の興味のレベルを観察し・何をどのように必要なのか分析・取組の提案というサイクルで興味関心を引き出したい。

6. 施設関係者評価委員会の意見

評価①

日々、安心して子供を預けられる環境づくりに取り組んで頂き、大変感謝しています。毎日の運動は体力向上につながり、苦手なことにも挑戦し、達成感を味わうことのできる取り組み

だと思います。また、食育に関しては季節に応じた食材を使用し、創意工夫された献立で子供も喜んでいきます。サイクル献立により好き嫌いを減らせていけるので、良い取り組みです。

行事面で、遊戯会の際、クラスで2グループに分けるのであれば、同じ曲目ではなく別にして演目をする、と、見ている保護者としては、子供たちの様々な表情や動きを見れるので良いのではないかと考えます。

評価②

各項目の着眼点において取組状況は若干の課題は残すものの、おおむねできていることから、高い実効性が伺えます。

本年度は非認知能力を重要視する中で、子どもの主体性を切り離すことは出来ないと思いますが、その子どもたちの主体性を職員がどう引き伸ばしてあげるかがポイントになると思いますし今後の課題になるのでしょうか。

また、発達支援におかれましても、手厚い支援・ケア等が伺え、非常に素晴らしい内容だと思いますので、今後も手厚い支援を継続していただけますようお願いいたします。

評価③

職員全員が子どもたちとパワフルに向き合い、とてもたくましく感じる。

全職員が保育研究を行い、子どもたちに対して、より良い指導について職員同士意見し、解決に導いている姿がある。この様な場面に対する指導や助言にも工夫を感じる。

また、新たに楽しめる遊びや、バリエーションを高める努力を続け、楽しみ方の工夫をしながら少し高い課題に挑戦することや、子ども同士の協力により感じる気持ちを大切に、子どもの主体性を一番に考えられた教育を中心とする法人としての取り組みを感じます。

評価④

コロナによる制限も少しずつ緩和されたことで納涼会やお誕生日会の会食など初めて経験する行事も増えたりと、親子共に楽しく過ごすことができました。

給食は手の込んだメニュー、品数も多く、調理や食事介助を考えると大変な面もあるだろうと、先生方には感謝しております。こどもも給食の〇〇が美味しかったからお家でも作ってとよく言っています。

クラスの人数が多い中一人一人に目を配るのは容易でないと思いますが、日々の遊びや製作活動など充実したもので、たくさんの経験をさせて頂き感謝しております。来年度もよろしくお願い致します。

施設関係者：保護者の代表の方 法人監事

7. 令和5年公開保育の取組状況

4月5・19日	5月11・17日	6月10・14日	7月12日	8月2日	9月1・13日
10月4・11日	11月8日	12月2・13日	1月17日	2月10・14日	3月6・13日

日
保育参観・親子参加行事を実施。